

第9回私たちのひろば

9月10日(日) 14:00~15:30

司会 吉高 路会長 記録 廣島規子会計 参加者 16名

祈り 司会者

自己紹介

・安武(南名古屋):南名古屋は献身者を送り出す教会。女性連合の働きについては、教会女性会で折に触れて紹介している。若い人たちは働いている人が多いので、礼拝にも来れないことが多いので、昔のような活動はできなくなってきている。

・渡辺(福島主の足あと):いろいろなことがあってから8年。小さかった子供たちが中高大学生になって、親も子も忙しく今は来ることができない方も多くなった。でも仮会堂が与えられ、安定的な礼拝ができるのが嬉しい。新会堂を建てる祈りが高まっている。新しい女性連合に変わっていかうとしているこの時に、自分も変わらなくてはいけないと思い、今日は初めて参加した。女性会も小羊会もお休み中だが、新しい会堂になったら、何とか盛り上げていきたい。つらいことも多くあったので、楽しみながらできる女性会になりたい。

・常盤台サテライト(4名):女性会例会が今年度から各月対面で行われるようになった。

・米本幹事:昨日は25名の参加。総会に向けて関心を持ってくださっている。皆さんの声を直接聞けるようにしたい。

・園山(荊田):先日米本幹事が北九州に来てくださり、少ない人数ながらよい時間が持てた。女性連合奨学生を覚える礼拝を持った。奨学生を身近に覚え、教会全体の取り組みとなって感謝した。女性会の人数は少なく、例会は持っていないが、世の光から教えられること、気づかされることがたくさんある。夫にも世の光を読んでもらおうと勧めている。

・松坂(静岡):女性会例会はできていないが、総会に対応した事務的なことを話し合ったり、徐々に女性会の活動が再開されつつある。個人的には検討チームのアドバイザーとして、これからの女性連合のこと、私たちはこれからも何を大切にしていけるのかを一緒に考えている。

・才藤(平尾):平尾の女性会は30人ほど。元気に活動している。コロナ後徐々に活動を再開している。個人的には3年前に世の光に連載したが、女性連合は大変な過渡期あると思う。不安困難な時ではあるが、希望に見満ちた恵の時であることを、女性連合総会では皆さんにお話ししたい。

・五島(三鷹):昨日のひろばでは、コロナ明けでこれから、これなら自分でもやっていけそうかな、ということを見つけない方や、今まで働きありきだったが、礼拝出席に専念することを大切にしたいと思われる方。楽しみながらできる女性連合をやっていききたいといわ

れる方がおられ、これからの女性連合のヒントになる発言があった。自分自身も子育て時期に PTA 役員を回避するために、自分の大変さをアピールする人がたくさんいたが、一人で重たい米俵を担ぐのではなく、みんなが一合ずつの米を持ち寄るように分かち合って働きを担える働き方を模索したい。

・堀内（恵）：中四国は小さい教会が集まっている。オンラインでも全国のメンバーとまみえて集会できることが新鮮で嬉しい。7月に高松常磐町教会で対面総会を持つことができ感謝だった。

・本多（函館）：冷房のない北海道。この夏の暑さでバテている人が多く、今日は参加できずに残念。今後 PP などを活用して女性連合の働きについて知らせていきたい。対面で活動できることの大切さを大事にしたい。

・日高（大秦野）；女性会は定例の活動はしていない。世の光を読む。世界祈祷週刊をアピールする働きは続けてしている。食事の支度などはせず、12時半に礼拝を終えて帰ることに専念している。先日召された女性の記念礼拝を持った。女性たちの絆の深さを思わされた。ただの家族ではなく神の家族の絆の深さを感じた。これ国によると女性連合の指針が決まらないと前に進めないと言っていたが、これからの女性連合も事柄がつながっていく中で、でこぼこ道であっても方向性が決まれば良いと思ひ祈っている。

・吉高（市川八幡）：女性会例会はできていないが、女性会だよりが発行され、必要な事柄は立ち話でも、役員が集まってその都度話し合っている。

この後はこれまでの女性連合の課題や今どういう方向に進んでいるのか、何をしているのかを情報共有するために、ビデオを作製した。

女性連合紹介ビデオをみんなで見る

・司会者：女性連合が目指したい姿を検討チームで出し合い、総会冒頭でも話し合いたいと考えている。今こそ土台を作っていくことを大事にしたい。どのような女性連合をイメージしているのか？分かち合っていきたい。

・五島：私たちは今はまだ具体的に vision を思い描けなくても、神様が描く未来図と一緒に思いを馳せることが大事なのではないか。

・才藤：世の光で読む vision。私たちの周りにいる傷んでいる人に寄り添う基本理念は昔から変わっていない。検討チームでの話し合いの中で、考えられている対話。どのようなことが起こっているのか？共有してほしい。

・松坂：みんなで vision を考えよう！ということがカギになっている。どうなっていけば女性連合は楽しくなっていくのか？女性連合は生まれ変わっていくのか？女性連合は小さくなっていくかもしれないけれど、小ささも生かしあうような女性連合に生まれ変わっていくんだ。というエンパワーがあるといいな。と祈っているし、検討チームでも vision を描くこと。一緒に作ることをめざしている。

・幹事：対話していくことの大切さを共有していきたい。その中で大切なことは、これまでの経緯をきちんと説明し、共有し、議論ではなく対話をする。楽しめる空間、安心できる空間を作っていくことが大事。女性連合のこれからのことを考えていくと、そのプロセスを通してバプテスト全体が変わっていくことになる。これからの国外伝道会議では、女性連合の土台作りを待っているのだから、今すぐに女性連合は今後連盟の世界伝道の働きにどのように関わっていくのかを説明することができない。と言われている。女性連合の機構改革の根底的課題として、2026年には財政破綻をすることが見込まれていて、国外伝道どころではないということが大きくある。(謝罪のことはよくわからなくて拾えませんでした。)

・松坂：初めて聞く vision について戸惑ったりしている人いないですか???

・園山：自分は何も意見を出すことはできないが、誰かの発言や意見を聞くことによって、vision や理解が広がっていくのではないかと思う。何かを作り上げるのに、vision が大切なことはよくわかった。

閉会の祈り：本多